

学校教育目標：「向学 自主 協働」

校訓：「夢を実現」



川通中だより

令和7年6月2日 第3号
さいたま市立川通中学校
TEL 048(799)1061
川中キャラクター ホームページ



～スローガン：「一生懸命はかっこいい」～

「勇気ある一言を」

校長 鈴木 純

ここのところの気候の寒暖差から久しぶりに解放され、陽光降り注ぐなか、さわやかな風が頬を撫でてくれています。いよいよ、週末から、学校総合体育大会市予選が始まります。天気が心配ですが、日ごろの練習の成果を思う存分発揮して、悔いなく試合に臨んでください。全校で応援しています。

さて、中1時代にあったつらいお話をします。3学期の中頃でした。仲のよい仲間たち10人で、いつものとおり昼休みに校庭で「ドロ刑」をやって遊んでいました。グーとパーに分かれて「ドロ刑」が始まり、自分は刑事チーム、A君は泥棒チームでした。A君とは仲もいいけど、若干ずるい所もあり、ある意味リーダ格の男の子でした。詳しくは記憶のかなたから消えてしまっていますが、そのA君が遊びの中（ある程度一定のルールがあるにも関わらず、前々からAくんと遊びに不条理さを感じていた）で、ずるい行為をして、せっかく捕まえておいたA君チームの泥棒を解放させたのです。私は、かっとなってA君を猛ダッシュで追いかけて、ジャージを思いっきり引っ張ったところでチャイムが鳴り、そのまま教室へということになったのです。遊びの中では、いくらでもあることだと思います。その次の日から、A君もそうだし、周りの仲間たちの様子がおかしくなりました。別の仲間にも声をかけてもまともな返答はなし、だんだん自分が孤立して行ったのがわかりました。いわゆる当時の言葉で、「ハブ」とか「シカト」を自ら体験したのです。「ひとりはずらい」「学校に行くのもつらい」「学校に行っても、授業の時はまだいいけど、休み時間がつらい」そんな日が、3学期が終わるまで続きました。親にも先生にも言えなかった。「こんなことがきっかけになるなんて……」と悔やみました。

2年生になり、クラス替えが行われました。仲間が大きく変わり、1年生の時の嫌な思いは一気に消え去り、部活動も充実し、担任の先生にも恵まれました。

しばらくしてからのある日、トイレで用を足し、手洗いを済ませたところ、偶然にもA君が入ってきました。自分は、イヤな奴がはいってきたなと思い、にらみ合いましたが、その場をやり過ごそうと「背伸びたな」と声を掛けました。すると、A君はトレードマークのえくぼを見せ、こちらに近寄ってきました。すると、なぜか自然に握手をしていました。肩の荷が下り、体が軽くなったような気分になりました。A君も私のことを考え、機会があったら、仲直りしたいと思っていたのかもしれませんが、詳しくは聞きませんでした。その後は、A君とも普通に過ごせるようになりました。

私たちは、子どものささいな変化に気づくことが大変重要ととらえています。「いじめ発見のための要注意サイン」を教職員が共有して、子どものささいな変化をしっかりととらえ、大きな事態にならないよういじめ防止対策委員会や生徒指導委員会、学年などチームを組んで対応していきます。

このささいな変化を見逃さぬよう様々な場面で見守っています。「朝の会」「清掃」「授業」「休み時間」「給食」「帰りの会」「部活動」「学級内」「移動教室」「アンケート」「やりとり帳」「スクールダッシュボード」など、子どもがどんな状況であるか情報交換し、少しでも普段と変わっている様子があれば声かけをしていきます。生徒のみなさんは気がかりなことがあれば、先生のみならず、職員、さわやか相談員、保護者、市などの専門ダイヤル、市の相談室など様々な相談の窓口があります。一人で悩まず、勇気を出して、相談してください。保護者のみなさまへ、お子様の様子でご心配な点がございましたら、どんなささいなことでも構いません。ご相談ください。

さいたま市では6月を「いじめ撲滅強化月間」としております。4月から新学期がスタートし、ようやく学級での生活も慣れてきたことと思いますが、この時期は、生徒がストレスを抱え込みやすく、理由もなく不安になったり落ち込んだりし、衝撃的な行動が増える傾向が見られています。また、いじめの認知件数も増加してくるのもこの時期です。ご協力をお願いいたします。

また、生徒のみなさんは、「お互いの個性を認め、自分も他人も大切にできる温かい雰囲気づくり」をしていきましょう。さらに、クラスの仲間がひとりで寂しそうにしていたら、積極的に声をかけて仲間に入れてあげてください。あなたの一言がどんなに救われるか。私はその気持ちがわかります。